

自動 迅速 微生物 検出装置

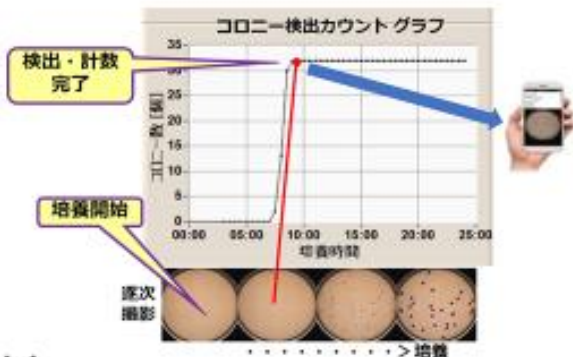
* カンタン 操作 * 確実 検出 * 正確 計数

全自動

リアルタイム
検出

自動 通報

リモート
コントロール



培養法が新たな次元に...

標準従来法を自動化して、確実に迅速に

MicroBio μ 3D AutoScanner は、従来法の寒天培地の培養をモニターしながら **マイクロコロニー** の成長を確認して検出・計数し、コロニーカウントグラフを自動的に作成します。30分ごとに、培養されている寒天培地シャーレ全体を光の透過度をモニターしてコロニー画像をミクロンレベルの3次元で捉えています。リアルタイムで生菌を目視よりも迅速に検出します。菌検出時には、自動的に警報 e-mail (培地画像付) をスマホに送付します。試料は、塗抹法、混釈法、フィルター法 (MBF) のいずれでもよく、全自動で検査できます。

AutoScannerは、従来法をそのまま自動化していますので、微生物検出の確実性は寒天培地の性能に依存しています。この装置は培養状況を数値化していますので、培地の特性試験を実施することもでき、培地性能をグラフで把握できます。培地を最適化して検出加速も可能です。

特長

- 100検体が検査できる
- セットしてスタートするだけ
- インターネットを介して遠隔操作可能
- PCでデータ解析処理・保存
- 検出時にスマホに自動通報
- LAN接続による装置 (PC内蔵) 増設でパ一チャル 大型装置構築可能 (例: 500検体など)

公定法の自動化・迅速化

平板培養法は、日本薬局方および食品衛生法で定められた公的試験法 (公定法) です。これは、培養法が問題を引き起こす生菌を検出する上で最も信頼できるといふ事実に基づいています。

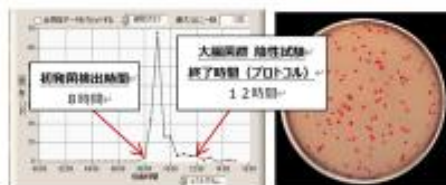
AutoScannerは、マイクロコロニー法により、公定法を全自動化しています。

- 大腸菌群 陰性試験 の全自動化
- 一般生菌数 カウント の全自動化

大腸菌群 陰性試験

MicroBio μ 3D[®]
AutoScanner

デソキシコレイト寒天培地による
大腸菌群検査 (赤色コロニー検出)



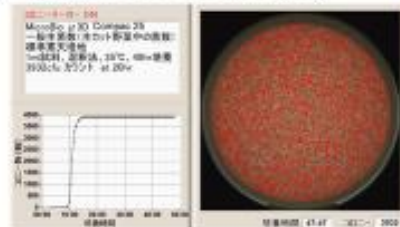
牛乳試料中の大腸菌群の検査を実施した例になります。(大腸菌群は野生株で、データはA乳業からの提供です)

大腸菌群陰性試験の場合は、試験を終了するプロトコル時間が重要となります。初発の菌の検出時間で陰性試験を終えることはできません。“菌がない”(陰性) ことと、“検出できなかった”(偽陰性) ことは、異なります。

AutoScannerにお任せください。

一般生菌数 迅速 正確計数

MicroBio μ 3D[®]
AutoScanner

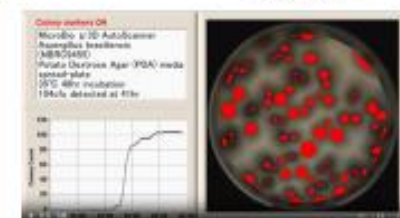


一般生菌数は培養条件と目視試験法が規定されており、計数を加速することはできませんが、この全自動微生物迅速検出装置 Compac 25は実数を培養過程でミクロのレベルで計数していますので基準値を超える菌数の迅速な把握が可能です。

(警報 e-mail をスマホに自動転送します。)

カビ検出・計数

MicroBio μ 3D[®]
AutoScanner



カビは菌糸の影響で長時間の培養後はコロニーが重なり合って正確な計数が困難です。AutoScannerは寒天培地を培養しながらマイクロコロニーをミクロのレベルで検出・計数しますので、菌糸の影響を受けることなく検出・計数できます。

フィルター法 (MBF)

MicroBio μ 3D[®]
AutoScanner



液体試料をろ過したフィルターを寒天培地に集めて AutoScanner にセットしてスタートすれば全自動で迅速な検出・計数ができます。



コンピュータ化

<従来法>

ナストデータシート
紙のデータを検索する

< AutoScanner >

電子データ
コンピュータファイル検索

品質保証 - トレーサビリティ

品質管理 - ペーパーレス

テストデータ - 電子データ化

仕事の効率

ISO・21CFR Part11
コンプライアンス

管理コスト

UP

DOWN

MicroBio
Culture Media
混釈用培地 ACM

※日本薬局方準拠
※性能成績書添付

※菌種シャーレ付

※フロート添付



混釈用培地ACMを使用すれば、試料を培地に容易に混釈ができます。

標準寒天培地、SCD、SCDLPなど各種

製造元

QRコード 導入パック

